

魚の城下町

みんなが主役のまち



自分で採ってその場でぱくり！
羅臼のウニは最高！
～知床羅臼町観光協会主催のエコツアーに参加して～



1、はじめに

私は、この度の選挙におきまして、引き続き町政を担当させていただくことになりましたが、町民皆様の期待に思いをいたしながら、その重責に身の引き締まる思いであります。

ご承知のとおり合併が実現せず、平成十七年十二月に「自立プラン」を策定し、「協働のまちづくりの推進」と「行財政改革の断行」を具体的に推進しているところでもあります。

さて、再度担うことになりました町政の今後を見据えたとき、市町村合併問題の再燃、地方財政、地域医療等、我が町の存亡にかかわる重要な政治環境の中で町政を運営してまいらなければなりません。

議決機関としての議会の皆様と執行機関の町長としての役割と立場に心して、町民皆様の思いを共有しながら、町民の幸福と町勢発展のため全力を傾注して町政執行にあたる決意を新たにしているところであります。

2、まちづくりの基本姿勢

私は、「あしたへの希望をなくまちづくり」をめざして平成十七年度から推進しております「協働のまちづくりの強力な推進」と「行財政改革の断行」を継続実践してまいります。

ハード面では、医療と福祉施設の整備を最重要施策としてその実現に努力してまいります。従いまして、その他ハード面の整備に対する町民の思いや要望は充分承知しておりますが、それが叶わない財政環境であることをご理解いただきたく存じます。

このため、公共、準公共の遊休施設の有効活用を積極的に図ってまいります。

3、まちづくりの目標

①いのちを守る「医療と福祉」の充実をめざします

医療を取り巻く環境は大変厳しく変化しておりますが、一般の議会において一定の方向性をお示しいたしましたように、病院改築は自立プランの重点施策として推進してまいります。

また、国保病院の介護病床の廃止に伴う影響や今後増加が見込まれる認知症高齢者等に対応する福祉施設として、認知症高齢者対応の「グループホーム」の整備について民間活力の導入も含め、その実現に向けて取り組んでまいります。

②たくましい「地域産業」の発展をめざします

羅臼沿岸における漁業資源につきましても、資源管理が必要なものや、付加価値対策に早急に取組まなければならないもの等、依然として厳しい状況となっております。

また、町としても本年度、海洋深層水の給水施設を羅臼漁港の東護岸付近に設置、十月オーブンを予定しており、地域の貴重な資源として衛生管理をはじめ各分野での利活用を図っていきたいと考えております。この中で、「知床らうす海洋深層水」の商標登録使用の有料化を検討してまいります。

観光につきましては、知床が世界自然遺産に登録されて間もなく二年が経過しようとしております。観光客の入込み状況は二年続けて増加しておりますが、宿泊率は前年比二十四パーセントの減少で非常に厳しい状況であります。

知床羅臼町観光協会が、積極的にエコツアー等の事業展開を実践していただいておりますことは、地域経済への波及も含め、実効性のあるものとして評価しておりますし、町としても支援をしてまいります。

③さわやかな「生活環境」の推進をめざします

知床世界自然遺産の使命である「知床の豊かな恵みと美しさを全人類のために後世に伝える」ということの実現に向け、町民の皆様をはじめ関係機関や関係団体の皆様のご協力を賜りながら鋭意努力をしてまいります。ごさいいます。

④うるおいのある「教育文化」の創造をめざします

本年度は、少子化が進展するなかで、羅臼地区と春松地区に町立幼稚園を開設しました。また、中学校三年間と高校三

年間の、六年間を見通した計画的な教育をめざして連携型の中高一貫教育が実践に移る等、新たな取り組みが始まっております。

⑤ちえと汗で「財政健全化」の実現をめざします

国は、自治体の生命線である地方交付税の削減をさらに加速させる状況にあります。

一方、赤字再建団体という最悪の事態を未然に防ぐには、私や職員はもちろん、議員皆様、町民一人ひとりが地域のことを考え、行政に参加する姿勢が求められていると思います。その点では、先に申し述べましたように「協働のまちづくりの強力な推進」が着実に実践されていることを実感している次第であり、より一層その歩みを強固なものにしてまいります。

4、当面の行政課題

①国保病院の運営について

退職看護師の補充が困難な状況から入院患者の抑制、夜間・休日の救急外来受入停止等、緊急事態となりましたことは、町民の生命を守らなければならぬ立場の町長として大変申し訳

なく思っております。

諸般の事情を総合的に勘案したとき、本町の医療を確保する選択肢は診療所に転換せざるを得ないと考えております。

また、保健活動として町民の健康に対する意識を高める健康教育活動の展開をはじめ、各種健診の受診率の向上等、尚一層の充実を図るとともに、医師と保健師の連携による訪問診療体制の整備に努めてまいります。

②財政健全化の取組みについて

地方分権の推進、三位一体改革の流れは地方に大きな変化をもたらし、我が町の財政運営も大変厳しい状況が続いております。

一方、自主財源であります町税であります、自立の道を今後も歩んでいくためには、正しい納税と適切な使われ方が最も重要でありますので、税収確保対策についてさらに強化をしてまいります。

さらに本年四月から「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」と連携し、法的措置の実施等、徴収体制を強化し財源の確保に努め、自立に相応しい適切な予算執行に十分意を用いてまいります。

③第六期総合計画の策定について

第五期総合計画は、平成十八年度で十年間の計画期間を終了し、本年十九年度を計画調整期間と位置づけて、現在第六期の計画の骨子を庁舎内に専門プロジェクトを設置し、検討しているところであります。

また、計画の方針を町民一人ひとりが担うことのできる役割を認識して「自助・共助・公助」の協働と役割分担の考え方に基づいた「協働のまちづくり」を基本として考えており、「あれもこれも」の行政運営から「あれかこれか」の選択と集中の行政運営を具体的にすすめられる計画を策定してまいります。

5、当面する政治課題

当面する政治課題である「市町村合併問題」についてであります。

我が町においては、合併破談の後、自立プランを策定し、厳しい行政改革を断行しながら自主・自立のまちづくりをすすめてまいりましたが、現下の行政運営は、財政、医療をはじめ各種行政サービスの低下等、危

機的な状況に追い込まれております。

私としましては、「過去の経緯と根室支庁管内四町の自治を考える会の動向を踏まえ関係町との共通理解の下、慎重に判断してまいります」と考えておりますが、現下の状況を考慮すると、今以上に積極的に合併の議論をすすめていかなければならないものと思っております。

6、おわりに

二期目の町政を執行するにあたり、私の基本姿勢に変わりはなく、「勇気をもって決断し、実践すること」を常に心がけながら「私ひとりの力は小さくても町を愛する町民の力の大きさを信じて」町民の幸せと羅白町発展のためより一層精進を重ね全力を尽くしてまいります。

議員各位をはじめ、町民の皆様、関係機関や諸団体の皆様、そして我が町を応援して下さい下さる多くの皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。私の行政執行方針といたします。

羅臼町教育行政の方向性 (教育行政執行方針抜粋)



1、はじめに

今日、我が国は急激かつ広範な変化を伴いながら、様々な制度改変が行われております。教育をめぐる状況も大きく変化しており、国では義務教育の構造改革が進められております。

未来の担い手である子どもたちには、心豊かにたくましく成長することは誰もが望むことであり、「生きる力を育む」学校教育の充実、教育関係者の使命とするところであります。

2、羅臼町教育の推進

教育委員会は、教育の諸情勢や改革の動向を的確にとらえ、「まちづくりは人づくり」の基本のもと、次代を担う人材の育成が不可欠と

の認識に立ち、我が町が豊かで住みよい地域社会を創造するため、諸施策を推進してまいります。

3、主要施策の推進

(1) 学校教育の推進

学校教育の推進につきまして、七点の主要な施策を申し上げます。

1点目は、「活力に満ち、期待に応え信頼される学校教育の推進」

校長の強いリーダーシップのもとに、いきいきとした創意ある教育活動が営まれ、地域とともに歩む学校教育を支援してまいります。

2点目は、「確かな学力を育む学習指導の推進」

今年も、教員の指導方法・技術の向上を目的とした、羅臼町学習指導法研究会の開催を支援してまいります。

3点目は、「豊かな心を育む教育の推進」

いじめなど諸々の生徒指導に関して未然防止・早期発見・早期解決を基本に、学校における指導はもとより、家庭や地域と一体となった取組みを支援してまいります。

4点目は、「健やかでたくましい心身を育む教育の推進」

望ましい生活習慣や食育に関する指導、心の健康やタバコを含む薬物乱用防止など具体的な実践を

支援してまいります。

5点目は、「中高一貫教育の推進」

町内四中学校と高等学校との六年間を連携した教育がスタートしました。

新たな姿や動きの中で、着実に推進し継続されていくものと期待するところであります。

6点目は、「幼稚園教育の推進」

本年四月から幼稚園がスタートしました。

学校教育の一環である幼稚園が、家庭・地域並びに小学校との連携を視野に入れて推進してまいります。

7点目は、「学校の適正配置計画」

小学校は平成二十年度又は二十一年度に、中学校は平成二十年度を目途に統合を進めていきたくと考えておりますので、地域・保護者の皆さんのご理解とご協力をいただきます。

(2) 社会教育の推進

羅臼町第四次社会教育中期計画を基調とし、ふるさとの良さを発見し、ふるさとに誇りと愛着を持ち、主体的に行動する人材の育成を重点目標に、学校教育や家庭教育との連携など、中期計画五か年の重点事項との整合性を見据えながら、事業を推進してまいります。

推進のねらい三点について申し上げます。

1点目は、「地域の課題をみつめ、自主・自立のまちづくりをめざす取組み」

2点目は、「心をむすぶ文化活動でうるおいあるふるさとづくりをめざす取組み」

3点目は、「健康の増進、コミュニティづくりに役立つスポーツ活動」

4、おわりに

ふるさと羅臼の未来を切り拓く子どもたちのために、夢と希望の持てる教育環境づくりに意を用い、町民の皆様が豊かで、生涯にわたる学び続けられる環境を構築するため、最善の努力をする決意でございます。

【執行方針について】

町長行政執行方針及び教育行政執行方針については、抜粋し掲載しております。

全文については、役場ロビー及び公民館ロビーにございます。

また、羅臼町ホームページにも掲載しております。

平成19年度の羅臼町 予算概要です

(平成19年6月補正を含む)

羅臼町の平成19年度予算は一般会計で34億796万円と前年度当初と比較して17.7%減となった。

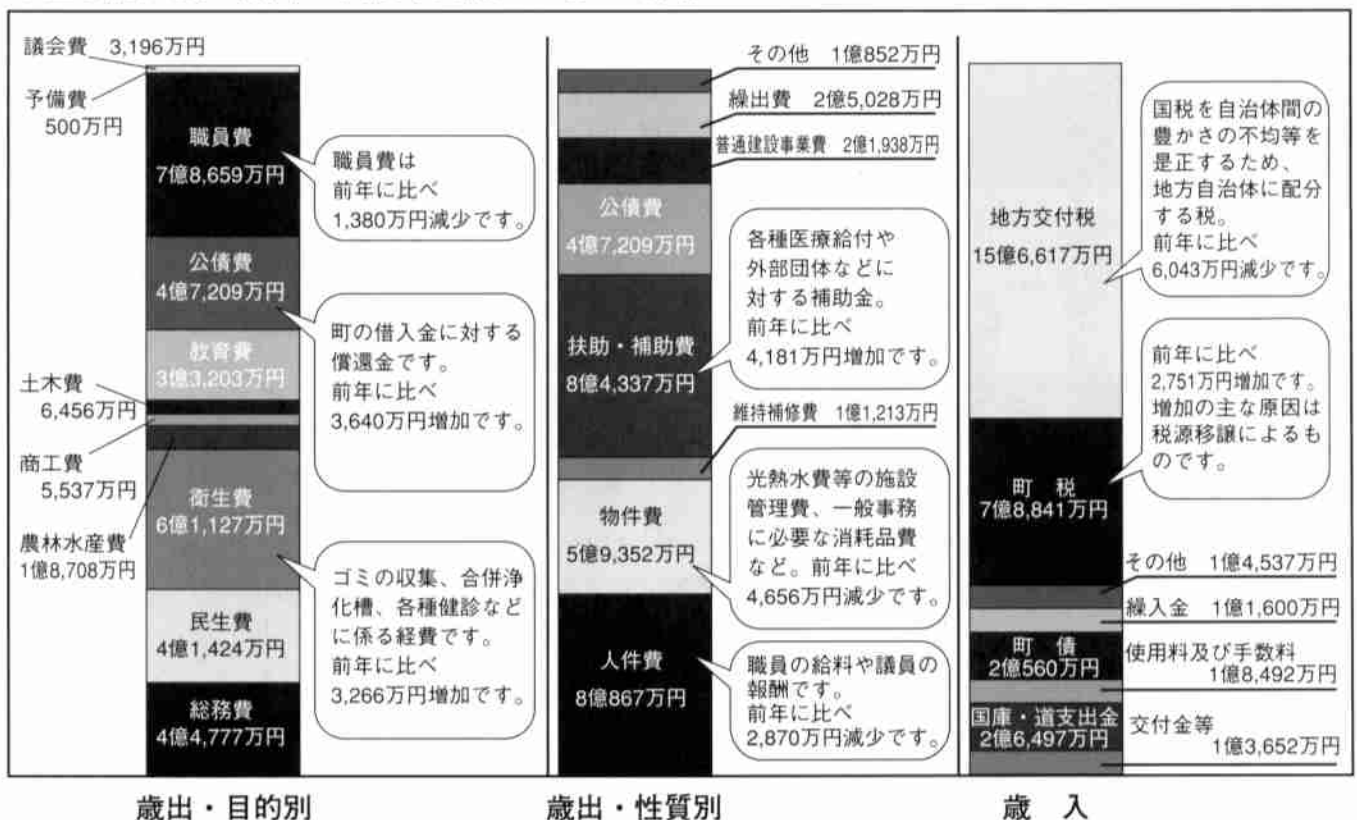
大きな要因としては、前年度計上されていた望郷台線道路改良事業などの補助建設事業が終了した為、普通建設事業費が大幅な削減となった。

しかし、予算が削減されたからといって町の財政状況は変わらず、依然厳しい状態が続いている。

◎会計別予算状況 (※平成19年度については、町長改選期により6月補正を含みます。)

	平成19年度	平成18年度	伸 率
一 般 会 計	34億796万円	41億3,875万円	△17.7%
特別会計(国保・介護・老人・温泉)	23億7,641万円	21億3,662万円	11.2%
公営企業会計(水道・病院)	10億2,467万円	9億9,414万円	3.1%
合 計	68億904万円	72億6,951万円	△6.3%

◎主な歳入及び歳出の状況 (予算額 34億796万円)





今後の町立病院の診療体制について、7月4日から町内を巡回し説明会を開催しましたがお仕事などで忙しく説明会場に来れなかった方も多くいらっしゃると思います。

ここでは、説明会で話されたことについての概略を説明させていただきます。

当面の病院運営について

◎ 7月21日から平成20年3月31日まで

(入院病棟休止、夜間・休日の救急患者受入停止)

ここがポイント！

- ◎ 内科の診療は午前のみになります。
- ◎ 夜間・休日の救急患者は受入れできません。
- ◎ 入院は出来ません。

7月21日から平成20年3月31日まで

診療科／内科・外科

運用内容／外来診療・訪問診療

診察曜日／内科 月・水・木・金曜日午前

(検査日：火曜日午前・水曜日午後)

外科 月から金曜午前・午後

受付時間／午前 7:00～11:30 (内科・外科)

午後11:30～15:00 (外科)

救急受付／夜間・休日の救急受入全面停止

今後どうなるの？

ここがポイント！

- ◎ 平成20年4月1日から診療所となります。
- ◎ 4月1日以降は現状に加え、外科の診療が出来なくなります。

診療科／内科

運用内容／外来診療・訪問診療、看護

診察曜日／月から金曜日午前・午後

(検査日：火曜日・木曜日午前)

受付時間／午前 7:00～11:30

午後11:30～15:00

来年4月1日から
診療所として運営

羅臼町の医療体制の行方

国保病院の救急対応の変更・
病床の廃止・診療所への転換



羅臼の救急を支えます!!

〈消防の救急体制について〉

現在22名の職員が3交替制で日夜救急活動を行っています。
内6名が救急救命士資格を持っています。
現在救急車は3台の内1台が高規格救急車です。



ここがポイント!

- ◎来年3月末までに高規格救急車を2台にします。
- ◎救急救命士を増員予定です。



救急救命士ってなに?

救急患者に対して救急車で病院に到着するまでの間、医師の指示のもとで救急救命処置を行うことが出来る資格です。

高規格救急車ってなに?

高規格救急自動車は 救急救命士などの行う救急救命処置が十分にできるように、従来の救急車に比べて活動しやすい車内空間と必要な救急資器材を有している救急車です。

羅臼の福祉施設が充実します!!

福祉施設 (グループホーム) 建設予定

グループホームってなに?

グループホームは、そこに暮らす認知症高齢者にとって「もう一つの我が家」であるというのがコンセプトです。

認知症高齢者が介護者であるヘルパーさんの助けを借りながら、家庭的な雰囲気の中で穏やかに老後を過ごすための居住空間です。

また、利用できる方は認知症状態にある65歳以上の要介護者です。

但し、著しい精神症状を呈する、あるいは異常行動があるものは除きます。

羅臼町では現在認知症対応型グループホーム事業者を公募し、今年7月末には事業者が決定、来年4月か5月には最大定員18名(9人×2ユニット)のグループホームが開設予定です。

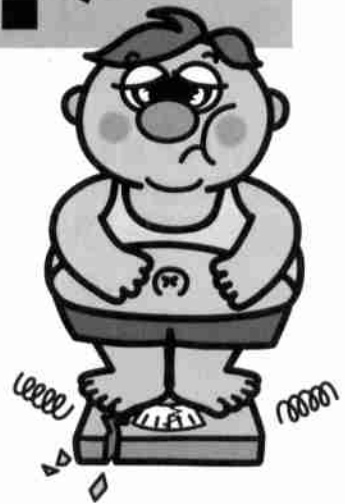


説明会では、いろいろなご意見・ご質問を頂きました。

掲載した記事の内容は最終の決定ではありません。このあと、町民の皆様のご意見や町議会の「病院運営調査特別委員会」の結果も踏まえて、町としての最終結論を出すこととなります。

町民みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

メタボリック!?



みなさんは町主催の総合検診をお受けになりましたか？今回はこの検診の結果をみなさんにお伝えし、生活習慣病予防を考えたいと思います。

受けてくださった方はご存知と思いますが、今年から検診項目に「復囲測定」を加えました。腹囲測定ではおへそ周りを測ります。これは今マスコミでも盛んに取り上げられています。「メタボリックシンドローム」を判定する一つの基準として設けられました。メタボリックシンドロームは、「内臓脂肪症候群」とも呼ばれます。肥満は肥満でも内臓にたまった脂肪

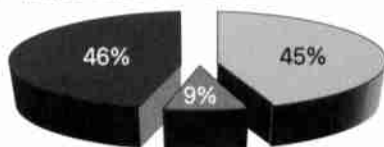
メタボリックシンドロームの基準にあわせ、羅臼町の健診結果をみてみましょう

平成19年5月11日から5月13日 受診 40歳～74歳 207名

※リスクの集計のため高血圧、高脂血症、糖尿病治療中の方も含めています。

※この集計は、下記の基準により集計しています。

1) 肥満者の割合 (207名中)



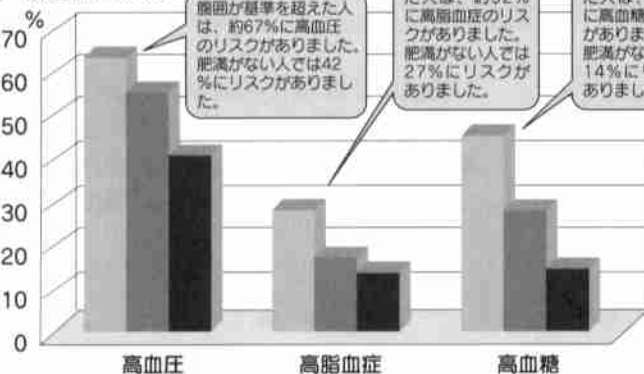
■ 腹囲 男85cm以上 女90cm以上
■ 腹囲 男85cm未満 女90cm未満 かつBMI25以上
■ 腹囲 男85cm未満 女90cm未満 かつBMI25未満

肥満者及び肥満の疑いがある人が全体の約5割を占めています。

生活習慣病は様々な要因から引き起こされます。食生活・肥満・運動・たばこ・アルコール・ストレス・加齢・遺伝・体質

がいろいろな病気を引き起こし、それらの重なりが「動脈硬化」を起こすことがわかってきました。そこで内臓にどれくらい脂肪がたまっているかの目安になるものとして、おへそ

2) 肥満者のリスク



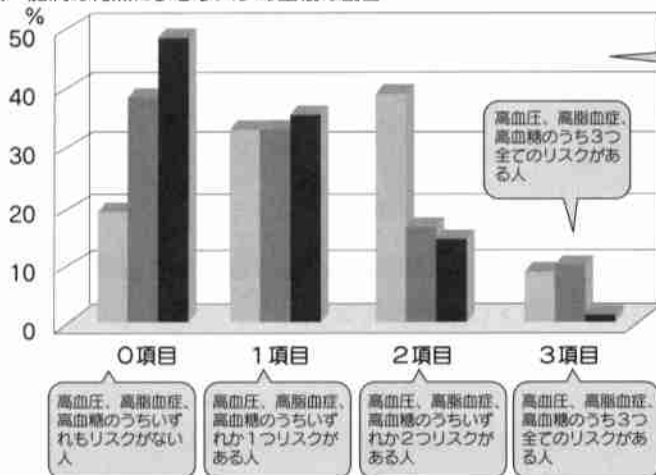
腹囲が基準を超えた人は、約67%に高血圧のリスクがありました。肥満がない人では42%にリスクがありました。

腹囲が基準を超えた人は、約52%に高脂血症のリスクがありました。肥満がない人では27%にリスクがありました。

腹囲が基準を超えた人は、約29%に高血糖のリスクがありました。肥満がない人では14%にリスクがありました。

腹囲の基準の過ぎた人は、肥満のない人に比べ高血圧 約1.6倍、高脂血症 約1.9倍、高血糖 約2.0倍、リスクが高くなっています。

3) 肥満の有無によるリスクの重複の割合



肥満のない人は、高血圧や高脂血症、高血糖を併せ持つ人は少なくなってきます。しかし、肥満のある人たちをみるとリスクを2～3つ持つ人が多いことがわかります。

メタボリックシンドロームが強く疑われる人は、44人(40～74歳の全受診者の21.3%)、メタボリックシンドローム予備軍が疑われる人は31人(40～74歳の全受診者の15.0%)、肥満がないけれどリスクのある人は不規則な食生活やたばこ、アルコール、ストレスなど、肥満以外の生活習慣にも注意が必要です。

の周りを測ることを取り入れました。目安は男性で85cm以上、女性で90cm以上は内臓肥満が疑われます。今までの検診の状況から羅臼町は肥満や高脂血症の該当

の人が多かったため、このメタボリックシンドロームに該当する方も多いと予想していましたが、結果は以下のとおりでした。

あなたの肥満、

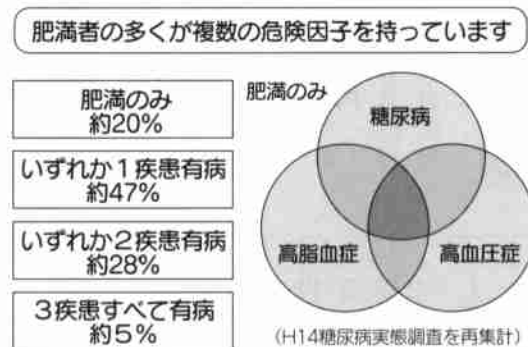
以上の3点があげられます。このことから平成20年4月からは生活習慣病予防のために、このメタボリックシンドロームに着目した検診・保健指導を行うよう医療保険者に義務付けられます。医療保険者とは国民健康保険や共済保険などの、保険証を発行している

ところのことです。生活習慣病はあなたが気がつかないうちに進行していきます。症状がなかなかでないために自分が病気だという自覚も生まれにくく、具合が悪くなる頃には後戻りができない状態になり後遺症も深刻です。治療も長期に渡ります。処方

された薬を途中でやめたり、病院へ行かなくなってしまう方も多いようです。メタボリックシンドロームから生活習慣病への道筋は決して一方通行ではありません。内臓脂肪は貯まりやすく、減りやすいと言われています。改善のためにはまずは自分の体のこと

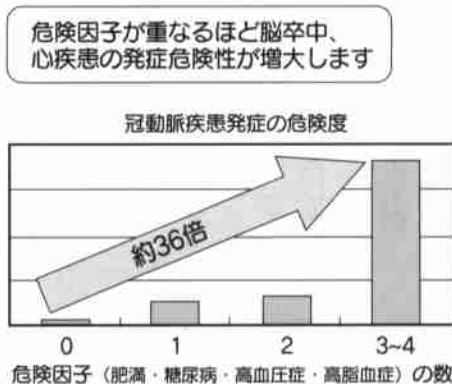
を知ってください。定期的に検診を受けご自分の体の変化がわかるようにしておくことができます。みなさん、どこでも構わないのでぜひ検診を受け、自分の健康管理を行いましう。

図1



なぜメタボリックシンドロームの考えが重要なのでしょうか。
① 肥満者の多くが複数の危険因子を併せ持っていること。

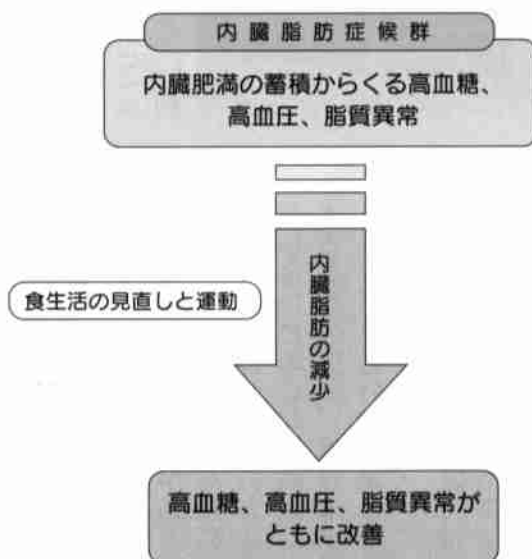
図2



② 危険因子が重なるほど脳卒中や心臓病を起こす危険が増大すること。

図3

生活習慣病を変え、内臓脂肪を減らすことで生活習慣病の危険因子が改善されます。



③ 生活習慣を変え、肥満、特に内臓の脂肪を減らすことで危険因子が改善すること。

副町長の就任のお知らせ

第2回定例町議会において、次の方が副町長に選任されましたので、お知らせします。

羅白町麻布町

鈴木 日出男 氏

任期：(自)平成19年6月22日
(至)平成23年6月21日

監査委員の選任のお知らせ

議会議員のうちから選任される監査委員に次の方が選任されましたので、お知らせ致します。

羅白町峯浜町

佐藤 晶 氏

保健福祉課
☎87-2161

今月のヘルスチェック
『介護予防』

「介護予防」という言葉をご存知ですか？介護予防とは寝たきりなど介護が必要な状態にならないよう、心身の衰えを予防・回復しようという取組みを言います。そのためには3つの習慣が大切であることがわかっています。それは、①活動的に暮らす②運動などで心身機能の保持・増進をはかる③大病や怪我を予防する、ということです。年をとると、些細なことで機能低下を招きます。例えば、入れ歯が合わない→食事が取れなくなる→体力が落ちる→動きたくなくなる→動けなくなる、といった悪循環が始まります。この「衰弱の悪循環」に陥らないように気をつけることが大切です。この悪循環の原因となる「筋力の低下」「口腔の状態」「認知症」「閉じこもり」「うつ」に早く気づけるように厚労省では25項目の「基本チェックリスト」を作成しました。簡単な質問ですので、興味のある方はお気軽に地域包括支援センターにご連絡ください。(☎87-5880)

テント貸します！

任期：(自)平成19年5月25日
(至)平成23年4月30日

町では、この度「財団法人自治総合センター」の一般コミュニティ助成事業を受け、軽量で設置方法が簡単な『イベント用テント』を購入しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじ普及広報事業費として受け入れる宝くじ委託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われている



ものです。
この『イベント用テント』は、町内で開催されるコミュニティ活動(イベント)に利

用できるようにと補助を受けたもので、希望する団体へ今後貸し出しをいたします。
従来の物より軽量で設置方法が簡単ですので、女性やお子さんでも容易に設置することができるとのことです。

借用したい団体は、羅白町役場 水産商工観光課(2階) 電話 87-2162 までお問合せください。

「悪質未納者に対して
停水処分を行っています。」
水道料金の未納は、
ありませんか。

納入方法等のご相談の無いまま長期料金の未納がありますと、支払い能力がありながら納入しない、支払い方法の話し合いに応じなく納入に対する誠意の無い、悪質未納者として停水処分の対象となる場合がございます。

役場2階建設水道課では、未納水道料金の納入相談を行っております。

お早めに、納入相談をお願いします。

電話 87-2163
内線 2614

いさり火吟社

縁側に朝刊開く立夏かな
 胡瓜揉む七き母の手のなつかしく
 観光船速くに見えて夏来たる
 桜餅買って僧待つ奥座敷
 浜の娘の髪にまつわる卯浪風
 新造船立夏の港に餅拾う
 気温差の激しき日々に夏立ちぬ
 恙がなく旅終えて来て胡瓜揉む
 胡瓜もみ小鉢で足りる二人前
 海峡に鯨潮吹く夏来たる
 紫陽花の藍鮮やかな雨の朝
 梵鐘や余韻残せり余花の寺

佐藤 紫山
 伏見 三千代
 工藤 敦子
 竹内 日奈
 川端 白浪
 浜田 羅牛
 長岡 佳雪
 小野寺 千鶴枝
 小泉 恭輔
 宮腰 鹿山
 中村 栄一
 山中 英美

バナー広告を募集します

羅臼町では、町内企業の活性化や地域振興を目的として町のホームページへの有料広告（バナー広告）の掲載を8月1日より募集します。

町のホームページと皆様の企業広告を結びつけることで、営業活動を広くアピールしてみませんか？

詳しくは、8月1日以降に羅臼町ホームページ

(<http://www.rausu-town.jp/>)

をご覧ください。総務企画財政課情報管理係までお問合せ下さい。

電話 87-2111

寄付・寄贈
ありがとうございました

【公民館図書室備品】
 太平洋設備株式会社 様

【病床・羅臼まちづくり基金】
 知床・羅臼まちづくり基金

【病院改修事業】
 太平洋設備株式会社 様

萬屋 昭洋 様

小泉 泰則 様

阿部 満晴 様

村椿 力男 様

川上 昭一 様

小木 忠良 様

田中 郁子 様

(有)赤岩水産 様

(有)菊地水産 様

【知床の自然保護・保全事業】

小泉 泰則 様

今月の
海岸線

海上保安大学校・海上保安学校の受験者募集について

海上保安庁では平成19年度の海上保安大学校・海上保安学校の受験者を募集しています。

申し込み受付期間

大学校 8月30日～9月11日
 (インターネット9月5日まで)

学校 7月24日～8月7日
 (インターネット7月31日まで)

くわしくは羅臼海上保安署 (☎87-3999) まで問い合わせてください。



本町みどりの会による
オジロ橋周辺清掃

「清掃活動」の輪広がる

各団体でボランティア清掃

本町みどりの会、(有)和光、北電グループの3団体は、6月中にオジロ橋周辺、熊越橋周辺、しおかぜ公園など町内各所において、ボランティア清掃活動を行いました。

このような地道な活動から「世界自然遺産」にふさわしいまちづくりが出来るのでは



北電グループによるしおかぜ公園清掃



(有)和光による熊越橋周辺清掃

ないでしようか。
みなさん、ご苦労さまでした。



飛仁帯小学校が青少年赤十字に加盟

去る5月19日、飛仁帯小学校において青少年赤十字(JRC)への加盟を記念した「青少年赤十字登録式」が行われました。これは同校が5月11日をもって、JRCへの登録を完了し、赤十字旗及びワッペン等の送付を受けて開催したもので、式当日、児童29名は、一人ひとり受け取ったワッペンを肩につけ、みんなで分担して誓いの言葉を読み上げ、今後の活動への目標を確認しました。

JRCは、赤十字社がその重要な社業の一つとして、実践活動を通して望ましい人格の形成を図ることを目的に進めている活動で、「気づき、考え、行動する」を態度目標に掲げ現在、日本全国に1万校を超える幼稚園、小・中学校、高校が加盟しそれぞれ活動が行われているものです。道内でも27校が加盟していますが、羅臼町内では唯一の加盟校となります。工藤桜校長は、同校では



「これまで子どもたちが実践してきている様々な活動が、JRCの活動に通じるものがあり、今回の加盟を契機にあためて意識を高め、今後の活動への励み、弾みにしてほしい」と、子どもたちへの期待と今後の抱負を話してくれました。

これまでの活動を継続しつつ、今後、新たな「気づき」で、新たな取り組みが子どもたちの側から提案・実践されていくといいですね。益々の活躍を期待しています。

北海道コカ・コーラボトリングが 知床の自然保護活動に協力！

〜売り上げ1本につき1円の寄付〜

北海道コカ・コーラボトリング(株)が知床の自然保護活動に協力するため、6月から羅臼町内の自動販売機で売り上げた飲料1本につき1円を知床・羅臼まちづくり基金に寄付して頂くことになりました。

また、同社では世界自然遺産指定地域内に、景観に配慮した自動販売機や二酸化炭素削減のノンフロン型自動販売機の設置を推進する予定です。



観光シーズンスタート!〜第46回知床開き〜

6月16日から17日、第46回知床開きが羅臼漁港特設会場にて開催されました。

天気も良く、模擬店には観光客の姿が多く見うけられました。

会場ではいろいろなイベントもあり、恒例の綱引き大会では、岬町代表が知床別小中学校の校歌を歌って応援するなど盛り上がりを見せていました。知床開きにご参加、ご協力頂いたみなさんありがとうございました。





幼稚園最初の運動会



幼稚園になって最初の運動会。年少さんにとっては、本当に生まれてはじめて練習して行う運動会。7月1日羅白幼稚園。3日春松幼稚園の運動会が開催されました。競技では、自分の背よりおきな玉を転す大玉ころがしや障害物競争などがありました。また、かけっこでは、ゴールを間違えてしまったりいろんなハプニングがありました。でも園児みんなの一生懸命な姿に会場全体が声援と拍手であふれていて、とても楽しい運動会でした。

アルピニスト

野口 健 講演会 in 羅臼

平成19年8月4日(土) 17:00~

羅臼町公民館

環境保護活動の第一線で活躍するアルピニスト野口健氏が羅臼町にやってきます。

講演ではエベレスト・富士山清掃登山での豊富なエピソードを盛り込みながら
環境問題の本質と世界自然遺産「知床」をいかに次世代へ継承し、
守り伝えていくのかその熱い思いを語ります。



アルピニスト 野口 健
Ken Noguchi

昭和48年8月21日、アメリカ生まれ。故・植村直己の著書『青春を山に賭けて』に感銘を受け、登山を始める。平成11年、3度目の挑戦でエベレストの登頂に成功し、七大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立する。平成12年よりエベレスト清掃登山を開始。平成13年には、遭難したシェルパ（登山隊の案内人・荷役人）の遺族を補償するためにシェルパ基金を設立。その活動は多岐にわたるが、軸となる活動は富士山の環境保全である。清掃活動を中心に「富士山から日本を変える」をスローガンに日々、精力的に行動している。



■プログラム■

「富士山から日本を変える」

入場無料の講演会です。ぜひご来場ください。

ありがとうございました

公民館利用団体の「琴友会」のみなさんが、座布団カバーを寄贈してくれました。大切に使用させていただきます。

カバーの交換までしていただき本当にありがとうございました。



ぜひ、覚えてください！

健康を勝ち取る！

総合型地域スポーツクラブ

～スポーツクラブの新たな風～

『総合型地域スポーツクラブ』とは、地域において子どもから大人まで誰もが気軽にスポーツ活動へ参加できる総合的なスポーツクラブです。文部科学省の委託を受け、昨年5月に総合型地域スポーツクラブを設立するための準備委員会が発足されました。平成20年2月の本格始動に先駆け、現在様々な教室・大会・活動などを企画し開催しています。

そこで、今回は今年度開催しましたクラブ事業の一部をご紹介します。

第1弾 水中運動教室

今年度クラブ事業第1弾として開催された本教室は、幾つかある水中歩行法を紹介しながら全員で楽しく水中を歩きました。

水の浮力や抵抗を全身で受ける水中歩行は、体に負担がかからない全身運動になるため、健康づくりにおいて最も優れた運動の一つです。



第2弾 初心者水泳教室

第2弾は、初心者を対象とした水泳教室です。

「泳ぎはちょっと…」 「泳げるけど基礎から学びたい」等様々なレベルの方が集まり公認指導者のもと水中運動と併せて開催しました。

全4日間行われた本教室をきっかけに、泳ぐことに自信がついた方が大勢いるのではないのでしょうか。



スポーツを通じ明るく住みよい町づくりを目指した『総合型地域スポーツクラブ』は、平成20年2月に正式に立ち上がります。設立後は、上記のような教室や各種スポーツ大会はもちろん、いろいろな種目が楽しめる定期活動など年齢や運動能力等を問わず色々なスポーツ（文化）活動が楽しめるようになります。

今年度も設立に向けて様々な活動を計画しております。随時広報などを活用しクラブ情報をお知らせしていきますので、今後のクラブの動向にご注目ください！
皆さん、一緒にスポーツを楽しみましょう！





なつやすみ 絵本ライブ

無料

絵本の読み語りと楽しい演奏であなたの心と体をほくします。子どもはもちろん子育て中の方へぜひ!

かもめ号巡回日程

7月31日(火) 葦浜町方面
8月8日(水) 岬町方面
夏休み中、図書館バス巡回をご希望のご家庭はご連絡ください。☎87-2004

どなたでも自由参加、無料です。

春松幼稚園

10時45分〜11時30分

羅臼幼稚園

9時30分〜10時15分

公民館図書館が町内幼稚園のPTA活動と連携した企画として、「夏休み絵本ライブ」を行います。

8月6日午前 2ヶ所で公演

スマイルハート工房 さくらさん(大阪市在住)



秋分の日 9月23日

第6回 らっすす古本市

ほちほち集めています

家を片付ける時「まだ、使ってもらえるかも?」と思つたら図書館へ寄贈して下さい。収益金で新しい本に生まれ変わります。

ボランティア募集

前日の準備や当日の販売、工作コーナーのお手伝いなど図書館活動の応援団としてあなたの力をお貸し下さい。



*第4回古本市の工作コーナーの様子 子どもと一緒に遊んでくれる方大歓迎!

かもめ号巡回 20周年記念展

古本市会場に、20周年を迎えたかもめ号の記念展をします。あなたの思い出の写真、エピソード、かもめ号への手紙などをお寄せ下さい。

話題の本



「夕風の街・桜の国」こうの史代著

最もか弱き者たちにとつて、戦争、原爆とは何だったのか。原爆がヒロシマに落とされ10年、ようやく生き直そうとし始めた傷けな命を描いた作品。映画化作品の原作。



「あきらめないこと、それが冒険だ」野口 健著

羅臼に来る野口健さんの著作。一九九九年に世界7大陸最高峰の登頂という冒険に成功した野口健さん。そのときエベレストに、大量のゴミが捨てられていること、そしてその多くが日本の登山隊のゴミであることを知った。そこからは地球を守るという野口さん冒険が始まったのです。



「きみはなぜ働くか」渡邊美樹著

ワタミ創業社長が若者たちに熱く問う「シゴト」と「生き方」のルール。「夢とは、見続けるものではなく、実現させるべきものだ」「生きること・人として・働くことについて、真剣に考えさせられる1冊。

新刊案内

電話予約もできます。

小説・エッセイなど

「カシオペアの丘で」重松清
「年に一度、の二人」永井するみ「めぐらし屋」堀江敏幸
「永遠のとなり」白石一文「ロック母」角田光代「暗殺の牒状」澤田ふじ子「ありがとうさようなら」瀬尾まいこ「メタボラ」桐野夏生「二人二役」河本準一「さくら横丁」さくらももこ「グダグダの種」阿川佐和子「袖のボタン」丸谷才一

教養・社会問題など

「ワーキングプアいくら働いても報われない時代」「夕張問題」「道東の建築探訪」「ご飯を大盛りにするオパチャンの店は必ず繁盛する」島田紳助「レジ袋がなくなる日」「日本の裏金」古川利明「消費社会から格差社会へ」

健康

「ツイてるからだ」「健康太極拳」「脳は朝ごはんが決まる!」「女性のための禁煙セラピー」

実用書など

「そうじ以前の整理収納の常識」「楽しいそうに生きる人の習慣術」「バスタソールレシビ」「わかりやすい年金」「獣医からもらった薬がわかる本」「セルフレスキュー」「楽しく上手にお金とつきあう」

●定期休室日● 8月31日(金)

こちら 旬街道

よし た けん さく
吉 田 健 作 さん

四半世紀ぶり 代表決定戦出場

この春、25年ぶりに第89回全国高校野球選手権北海道大会釧路支部代表決定戦まで駒を進めた羅臼高校野球部を率いた吉田健作監督にお話を伺いました。



吉田監督は筑波大学で野球部のスタッフとして4年間を過ごした後、縁あって鶴川高校で佐藤監督（甲子園5回出場）のもとで一年間コーチとして働いた自分の指導の基礎となる精神を覚えていただいたといいます。

平成18年春に羅臼高校に着任し、子どもたちに伝えたいことは、「練習がたつらくても仲間のためにもと頑張り相手のことを思やる。そして、本当の意味で信頼関係を作っていくってほしいと思います。そのためにも半端な取組みはいけませんし、ときには厳しくしなければならぬ」と語り、語り続けました。

出場決定戦について聞くと、「私の指導力よりもどんな練習も率先して行い後輩を引っばった三年生と以前の監督から引き継がれた努力の結果がここに来て実ったのではない」と語り続けました。

今後については、羅高に、羅高野球部に入れば何か得るものがあると言われるようにしたい。そして、一生懸命な子どもを多くしていきたいと話す監督からは、子どもへの教育に対する熱意を感じました。

人の動き

平成19年6月末現在 () 内は平成19年4月末対比

人口	6,390人	(-11)
男	3,181人	(-7)
女	3,209人	(-4)
世帯	2,221世帯	(-1)



編集後記

■7月から違う部署に異動となり、前回の5月号が最後の広報作成となりました。今までご愛読頂いた町民の皆様、取材にご協力して頂いた皆様、ありがとうございました。後任のKさんが取材に行った時は私と同様に皆様ご協力をお願いします。(T)

■10年以上前一度広報担当だったことがあります。10年前と一緒に芸が無いので少しでもよいものを作っていけたらいいなと思います。しかし、文才がなくて困っています。今後も努力していきますので、よろしくお願いします。(K)

■広報らうす 7月号 2007.7.25

羅臼町 総務企画財政課 広報統計係

〒086-1892
目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2111
<http://www.rausu-town.jp/>

■印刷/雨宮印刷株式会社